

SUN数通信

昭島市立つつじが丘北小学校
算数少人数
平成26年7月15日(火)
暑さに負けるな！号

もうすぐ夏休み！

あっという間に7月になり、1学期も残り数日です。今回は1学期最終号として、各学年の学習について振り返ります。夏休みの家庭での学習の参考にしてみてください。

初めてがいっぱい！

3年生

「わり算」を学習したと思ったら、学期末には「あまりのあるわり算」を学習しました。その他にも、「コンパス」も初めて使うなど、初めて学習する内容や、活動が多い1学期でした。



この学習は得意です★★★

2年生の時に一生けん命覚えた「九九」を使った「かけ算」や「あまりのないわり算」は、比較的正答率が高いです。また、「たし算や引き算の筆算」は、桁が増えても正しく計算できるようになりました。

初めての「コンパス」も、授業だけではなく、宿題として家でたくさん練習してきたので、どんどん上手になっています！



もう少し練習が必要な学習★☆☆

何とんでも「あまりのあるわり算」です！

- ①余りを出すための引き算で間違えたり、
 - ②余りがわる数よりも大きくなったり、
- 初めて出合った「余り」についてしっかり理解するにはあと一歩です。

また、文章問題での答え方が様々なものも「余りのあるわり算」の特徴です。文章を読んで、正しく答える力を付けることが今後の課題です。

作図の基本をたくさん学んだ

4年生

コンパスにも慣れてきた4年生。1学期は新しく「分度器」を使って角度を測ったり、三角定規を使って垂直や平行な直線を引いたり、それを使って平行四辺形を作図したり、上の学年につながる作図の基本を学びました。



この学習は得意です★★★

わり算がレベルアップして、「わり算の筆算」を学習しました。わる数が1桁の筆算の計算は、余りのある計算も正確にできるようになってきました。1学期の筆算は、2学期以降に学習する、わる数が2桁のわり算の筆算につながりますので、夏休み中も時々練習をしてみてください。



もう少し練習が必要な学習★☆☆

「角の大きさ」では、 180° 以上の角度を読むことが苦手なようです。また、「垂直・平行」「折れ線グラフ」では、作業をしている間にずれてしまったり、長さが短いと定規を使わずフリーハンドで線を引いたりしてしまうので、「正確に作図する」ことを意識して丁寧に書くことが習慣になるよう、繰り返し練習が必要です。


さらにレベルアップ!

5年生

5年生は、さらにレベルアップして、小数の仕組みや小数同士のかけ算やわり算の計算など、小数について詳しく学習しました。また、「体積」について学習し、新たに「立方センチメートル (cm³)」や「立方メートル(m³)」という単位も学びました。



この学習は得意です★★★

「小数のかけ算」の計算は、正確にできている子が多いです。小数点を打つ場所も、かけられる数とかける数をよく見て、正しくできていました。「直方体・立方体の体積」では、直方体が2つ以上組み合わせさせた←このような形の体積も、工夫して求めることができます。「合同な図形」では、個人差がありますが、正確に作図できる子が多くなってきました。



もう少し練習が必要な学習★☆☆

「小数のわり算」が大きな課題です。特にその中でも、「あまりの求め方」がまだ十分定着していないようです。「わられる数もとの小数点に合わせて余りを出す」というところが、今までの筆算と違うところです。繰り返し練習をして定着させていきましょう。その他にも、商を四捨五入したり、わり切れるまでわり進めたりするなど、問題によって、答え方が変わってくるので、それに対応する力を付けることが大切です。

いままでの学習をフル活用!

6年生

6年生は小学校のまとめの学年です。円の面積の求め方や、分数の計算の仕方など、一見すると新しいことを学習しているようですが、全て「5年生までに学習した考え方を使って課題を解決できる」ということに気づき、今までの学習の積み重ねの大切さを実感していました。



この学習は得意です★★★

わり算がレベルアップして、「分数のかけ算」や「分数のわり算」の計算に取り組みました。時々、約分を忘れてたり、約分がまだできるのに途中でやめてしまったりしているミスはありましたが、全体的に、計算は得意なようです。整数や分数、小数が混ざっていても、正しく計算できるようになりました。



もう少し練習が必要な学習★☆☆

1学期の最初に学習した「円の面積」の求め方を1学期末のまとめの学習をした際に、忘れていた子が多くいました。また、分数の計算は得意ですが、「文章問題を読んで正しく立式すること」が大きな課題です。問題を読んで、「わり算か、かけ算か」だけではなく、「わられる数とわる数は、それぞれ何になるのか」正しく判断することができるように、数直線をつかって考える習慣がつけられると良いです。

1学期を通して、算数の授業を通して子供たちと一緒に考えながら、楽しく算数の授業に取り組んできました。いよいよこれから!というところですが、2学期からは産休に入らせていただきます。1学期間、ご協力ありがとうございました。

青木 真実

